令和5年度　　江戸川区立上小岩小学校『特別の教科　道徳』教育全体計画

校長名　　宮本　知司

【法的根拠】
日本国憲法
教育基本法
学校教育法
学習指導要領

学校の教育目標
◎よく考える子
〇進んで働く子
〇思いやりのある子
〇体力のある子

【地域の実情】
【学校の実情】
【子供の実態】
【教師の願い】
【保護者の願い】

本校の道徳教育の重点目標
人間としての生き方の礎となる規範意識を身につける。生命の尊さを知る。思いやりの心を育てる。

各学年の指導の重点

第1学年及び2学年
身の回りを整え、規則正しい生活する。
善悪の判断の基礎を身につけさせる。
友だちと仲良く助け合う。

第3学年及び4学年
善悪の判断を身につけ、正しい行動をする。
生命の尊さを知り、生き物を大切にする。

第5学年及び6学年
自分の役割を自覚し、主体的に責任を果たす。
自他の生命を尊重する。

各教科

国語
作品理解を通して人間の生き方について深く考える力を養い、豊かな心情を育てる。

社会
地域学習を通して社会の一員としての自覚をもてるようにする。

算数
筋道を立てて考える能力を育てると共に、課題に対して粘り強く解決しようとする態度を育む。

理科
科学的な見方・考え方を培うと共に、自然を愛する心情や生命を尊重する心情を育てる。

生活
具体的な活動や体験を通し、豊かな感性を育て、自立への基礎を養う。

音楽
生き生きと表現したり、鑑賞したりして、音楽の美しさを感じる豊かな情操を養う。

図画工作
創造的な造形活動を通して、豊かな情操と意欲的な態度を育成する。

家庭
家族の一員として、生活をよりよくしようとする実践的態度や心情を育む。

体育
健康や安全に気をつけると共に、互いに協力し励まし合う態度を育てる。

道徳の時間

各学年の重点内容項目
1年
身の回りを整える。
善悪の判断の基礎を身につける。
友だちと仲良くする。
2年
身の回りを整え、規則正しい生活する。
善悪の判断の基礎を身につける。
友だちと仲良く助け合う。
3年
善悪の判断を身につける。
生命の尊さを知り、生き物を大切にする。
誰とでも仲良くする。
4年
善悪の判断を身につけ、正しい行動をする。
生命の尊さを知り、生き物を大切にする。
誰とでも仲良く助け合う。
5年
自分の役割を自覚し、主体的に責任を果たす。
誰に対しても思いやりの心を持つ。
自他の生命を尊重する。
6年
自分の役割を自覚し、主体的に責任を果たす。
誰に対しても思いやりの心をもつと共に感謝の心を育てる。

指導方針
　道徳の時間の年間指導計画に基づき、学級の児童の道徳的判断力を高め、道徳的心情を豊かにし、道徳的態度と実践意欲の向上を図ることによって道徳的実践力を育てる。

指導の工夫
・全教育活動を通して、心のノートや副読本を意図的に活用することにより、道徳教育の充実を図る。
・学校・家庭・地域との連携を深め、子どもの道徳性を育む。
・魅力的な教材や体験活動を開発する。
・発達段階に応じて、心の揺れや葛藤する場面を取り入れ、考えを深めさせる。

外国語活動
〇外国の文化を知り、日本の国の文化をふり返って国際感覚を培っていく。
〇進んでコミュニケーションを取り、豊かな人間関係を築いていける子どもを育てる。

総合的な学習の時間
〇自ら課題を見つけ、学び、考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育てる。
〇見通しを持って課題解決をしていく中で、自己の生き方を考えたり、友達同士で高め合ったりできる子どもを育てる。

特別活動

学級活動
児童相互が認め合い協力する道徳的態度を育てる。

児童会活動
集団活動に必要な道徳的実践力や態度を育てる。

クラブ活動
協力する態度や向上心を養う。

学校行事
責任・勤労・協力・奉仕等の道徳性を養う。

生活指導
基本的生活習慣を確立させる。
規範意識を高めさせる。
一人一人をよく理解する。

環境整備
より良い言語環境を整え、心地よい人間関係を築ける環境を整備する。

家庭・地域との連携
児童の基本的な生活習慣の定着をめざすと共に、体験の機会を積み重ね、豊かな心を育てる。

推進体制
確かな学力の向上
さくらんぼ（兄弟）学級
お年玉募金